



はじめに

AppleのMagic Mouseの何が一体そんなにマジカルなのか気になりますね...ではその中を見てみましょう！

最新のアップデートが必要ですか？ぜひTwitterをフォローしてください。 [@ifixit on twitter](#)

WiredとiFixitは [Sony分解コンテスト](#) を開催しています。Sonyガジェットを何でも分解し、写真を撮って[エディターを使用して](#)分解を投稿しています。あなたもPS3やPSP Goに勝てるかも！



ツール:

- [iFixit開口ツール](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)

手順 1 — Magic Mouseの分解



- 紳士淑女、老若男女の皆さん。ようこそ、iFixitによる、素晴らしいガジェットの分解マジックの世界へ。
- 今夜、私たちは観客の皆さんの中に素敵なゲストをご招待しています。カリフォルニアのクパチーノから、Appleの革新的なMulti-Touch技術を搭載した世界で最初のマウス、Magic Mouseを光栄にもご紹介させていただきます。
- もっとも壮大なステージで私たち、iFixitが最初にMagic Mouseを迎えましょう。どうぞそこに立ってあなたの無限の栄光を私たちに愛でさせてください。

手順 2



- ではではMagic Mouse、ご謙遜なさないでください。観客の皆さんに少しあなたについてご紹介をさせてください。
- Magic Mouseはアルミニウムをベースとし、上部のMulti-Touchの滑らかなパネルで構成されており、艶やかでボタンレスな外見をたたえています。
- 今までの屈強なAppleのマウスと違って、Magic Mouseは完全にユーザー体験を向上させるためにジェスチャーに重点を置いています。
- スピードをジェスチャーの速度で計算する慣性スクロールという最高のテクノロジーのおかげで、一本指であらゆる方向にスクロール、二本指でウェブページをスワイプ出来ます。
- 嗚呼、Magic Mouse...君はとってもマジカルだよ！

手順 3



- 次のトリックのために、観客の皆さんの中から一名、お手伝いをしていただけの方が必要です...はい、そのあなた、Magic Mouseさん...こちらに上がってきてください！

! 紳士淑女の皆さん、以下の分解は専門家によって、もしくは専門家の監督のもとに行われています。従って、iFixitはここに記載された分解によって誰も再組み立てしたりしないように強く主張する必要があります。

- 公式の免責事項が邪魔にならないように、Magic Mouseの分解を始めます。
- 電池が既に内蔵されています。普通のアルカリ乾電池です。我々はSteveがAppleオリジナルの乾電池を作らなかったことに驚いています。おそらくですが、他にやる事が多くて忙しすぎて気が付かなかったのでしょうか...例えばタブレット...多分、Steve...違う...本当？

手順 4



- チチンパイパイ！まあ、69ドルもするMagic Mouseは安くはありません。皆さんは69ドルもするMagic Mouseは魔法のような動作をすると思うでしょう。
- ① Appleの次の四半期の[収益目標](#)を達成するために、Appleは1億6400万台のMagic Mouseを販売しなければなりません。（しかしながら、これに加えてAppleは他の製品も販売しますが）その割合で行くと、世界中の人がMagic Mouseを手に入れるのに9年かかるでしょう。

手順 5



- 中を覗いてMagic Mouseにその力強いパワーを与えているお守りを見てみましょう。驚くことはありませんが、多量な量の魔法の接着剤が我々のゴールの前に立ちはだかっています。
- Magic Mouseの殻を開けるために、プラスチックオープニングツールを使用します。

手順 6



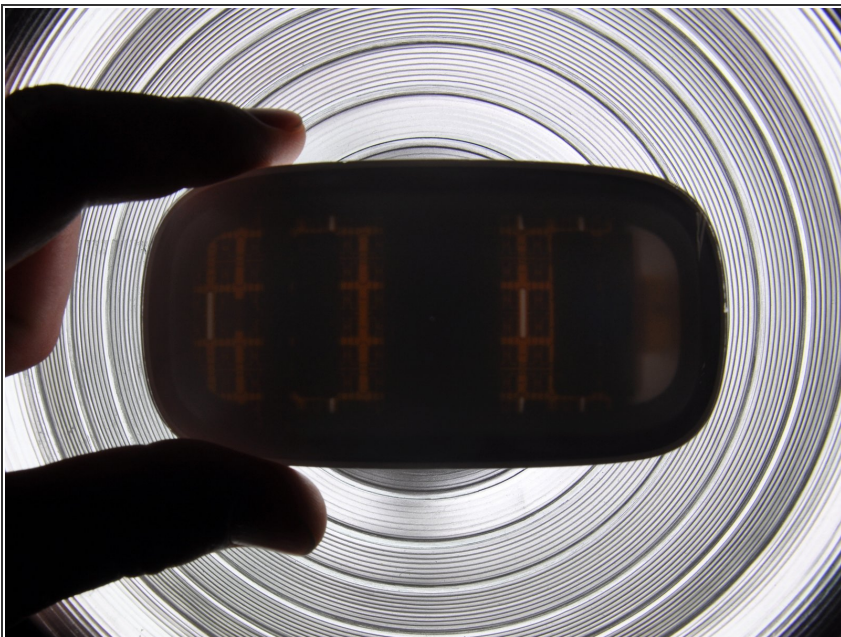
- 接着剤が我々を先に行かせてくれようとはしません。しかし我々は魔法の杖を一振りして力を得ます。ネジでバラバラにできたらどんなに簡単でしょう。（そして元通りにした時も見た目が良いはずです）
- マウスの内部にはそれほど多くのアルミニウムが使われておらず、重さはたった10グラムです。それは37グラムのプラスチックと47グラムの電池の重量と比較できます。ほぼ半分のマウスの重さが二本の単三電池によるものなのです。

手順 7



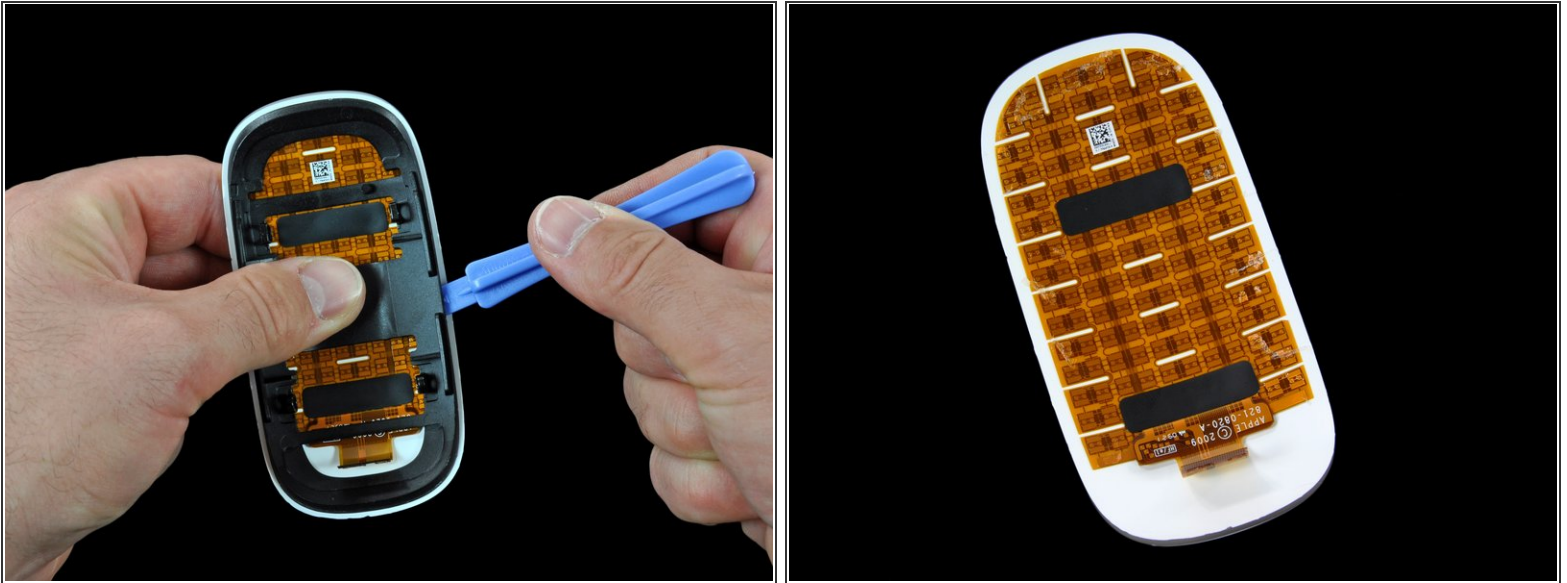
- 開けサルサパリラ！開けサスカチェワン！開けセプチュエイジナリアン！開けサドル・ソープ！...開けゴマ！これでやっと開きました。
- ここに我々はここに最初のマジックのかすかな光を受け取ることができます（それはオレンジの容量性タッチセンサーとしても知られています）。
- マウスの上部は1つの大きなリボンケーブルを経由してメインボードと電源に接続されています。

手順 8



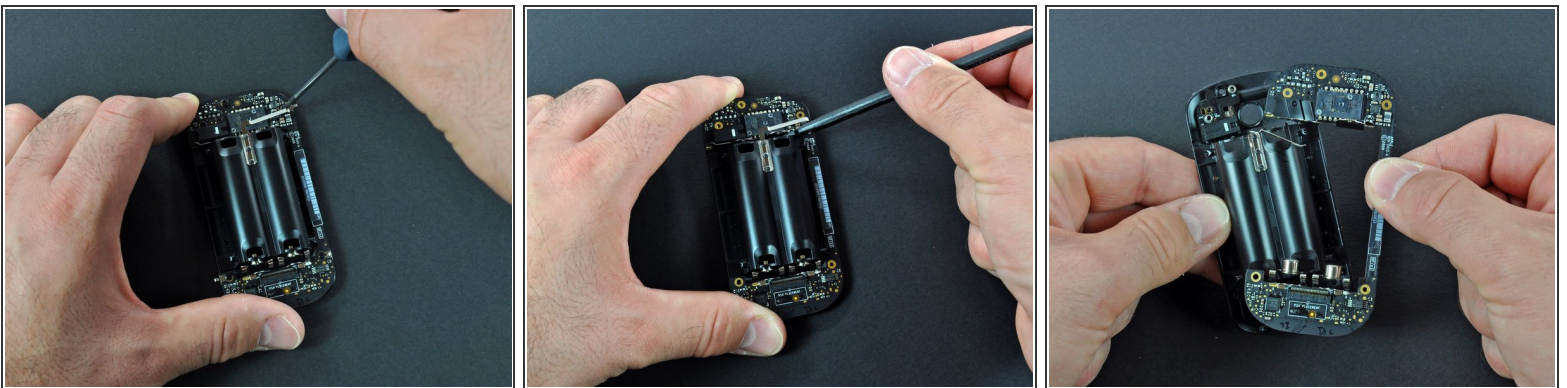
- マウスの上部は半透明です。きっと Apple はバックライト付きマウスを作るつもりでしょう。

手順 9



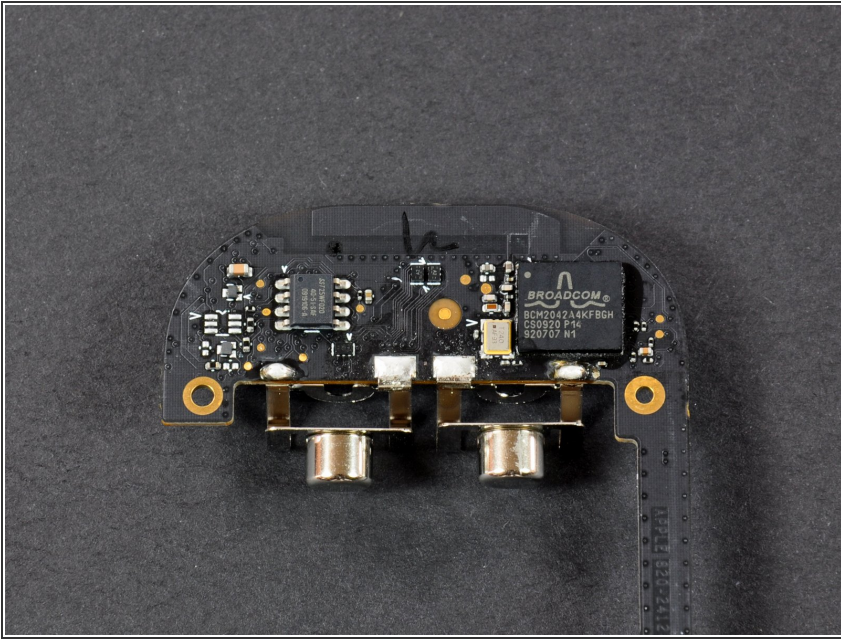
- 黒の内部フレームをこじ開けたのち、我々はついにセンサー全体の様子が伺えます。
- Appleのロゴを上にしたと、マウスの全表面が容量性タッチセンサーで覆われています。

手順 10



- 頭脳です。
- ① 平均してマウスの中枢部の重さは0.4グラムです。Magic Mouseの中枢部の場合は9グラムあります。つまりMagic Mouseは皆さんがお持ちの平均的なマウスより22.5倍も賢いことを意味します。こんなこと誰が知っていたでしょう？

手順 11



- これがMagic Mouseと持ち主のコミュニケーションを可能にしているBroadcomのBCM2042A4KFBGHチップです。
- これが『進化したワイヤレスのキーボードおよびマウスのBluetoothチップ』 [BCM2042](#)です。
- Broadcomによると、『今日のマウスとキーボードの全てのコンポーネントをBCM2042に統合することによって、低いシステムコストによって従来の有線マウスの価格に近づけることを可能にします』とあります。どうやらAppleはこのメモを忘れていたようです。

手順 12



- Magic Mouseよ、安らかにお眠りください。他のマウスは科学という名の下に犠牲になりました。私たちはMagic Mouseを破壊しませんでした。追記：元に戻してみたら、ちゃんと動いています！
- この後、Magic Mouseの次にiMacを分解する予定です。 [@iFixitのTwitter](#)をフォローしてください。新着情報をお届けします。

